

## 令和5年第14回教育委員会会議録

### 1 日時

令和5年8月23日（水）10時00分

### 2 場所

教育委員会会議室

### 3 出席者

教育長：石橋正信

教育委員：町孝、原志津子、武部愛子、西村早苗、徳成晃隆

事務局：福田教育次長、木下理事

中尾総務部長、齊藤指導部長

中野総務課長、井上小学校教育課長、永野中学校教育課長、松本発達  
教育センター所長

### 4 会議事項

#### (1) 付議事項

付議案第48号 教科用図書について（継続審議）

#### (2) 臨時代理報告事項

なし

#### (3) 協議・報告事項

なし

### 5 開会

教育長開会を宣告 10時00分

### 6 付議事項

#### ▼付議案第48号 教科用図書について

《投票の結果、下記のとおり採決》

[小学校の教科用図書]

国語 光村図書

書写 光村図書

社会 教育出版

地 図 帝国書院

算 数	東京書籍
理 科	大日本図書
生 活	東京書籍
音 楽	教育芸術社
図画工作	日本文教出版
家 庭	東京書籍
保 健	光文書院
英 語	東京書籍
道 徳	東京書籍

[中学校の教科用図書]

令和5年度使用の教科用図書を令和6年度も継続して使用

[小・中学校特別支援学級教科用図書及び特別支援学校小・中学部の教科用図書]

原案どおり可決

[質疑等]

(町委員)

- 教科書の話に入る前に、教育委員会制度というものを振り返ってみると、教育委員は何のためにいるのかということを見ると、一つは首長からの独立、もう一つは合議制でことを決める、最後は住民による意思決定、いわゆるレイマンコントロール、素人の管理と呼ばれるものである。今回、個人で拝読する勉強会も含めると、教育委員会会議の公式の場では3回目となっているが、実際は10回以上、こちらに足も運び、教科書もみて勉強会を行った。今回、我々が重視しているのは調査研究委員会の答申はもちろん、学校長の意見、地域住民の方の意見である。我々が教科書自体はすばらしいものであると思っけていても、最後に習うのは子どもたちであるから、学校の先生から習うときに先生が教えやすいものであるということもある面では大事かと思う。もう一方で、調査研究委員会の意見が校長会の意見と分かれたのは音楽だけである。理由は何かと考えたときに、芸術の感性を主に重視するようなところは、仕様、配慮といったところに重点を置くべきではないかと個人的には思ったが、学校の先生が子どもたちに教えやすいもの、福岡市の先生方で経験の薄い方がいらっしゃる場合はこういう教科書の方が教えやすいのではといった意図があつたのかもしれない。そういうことで、学校長の意見を、私を含めここにいる6名は真剣に学ばせていただいた。意見はかなり割れるかもしれないが、最終的には福岡市の子どもたちにとってより良い、使いやすい教科書に投票したいと思う。

## 7 臨時代理報告事項

なし

8 協議・報告事項

なし

9 閉会

教育長閉会を宣告 10時42分